

令和2年度 第3回大和市スポーツ推進審議会 会議録

会議名	令和2年度 第3回大和市スポーツ推進審議会		
開催日時	令和3年3月26日（金）午後2時55分～午後4時00分		
開催場所	大和スポーツセンター体育会館2階 会議室		
出席状況	委員	9人（荻窪委員、姉崎委員、金本委員、古市委員、土佐野委員、戸祭委員、笠原委員、菅沼委員、高橋委員）	
	事務局（担当課）等	事務局5人（スポーツ課長、他担当4名）及び文化スポーツ部長	
	傍聴人	0人	
担当課	文化スポーツ部スポーツ課地域スポーツ・女子サッカー支援係 内線（5763）		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開		

1. 会議次第

- (1) 令和2年度スポーツ課関係主要事業について
- (2) 令和3年度スポーツ課関係主要事業について
- (3) 令和3年度関連団体に対する補助金について
- (4) 令和3年度スポーツ課予算について
- (5) その他

2. 審議又は検討経過及び結果 主な内容は次のとおり

【議題（1）令和2年度スポーツ課関係主要事業について、議題（2）令和3年度スポーツ課関係主要事業について、事務局より説明】

●委員

大変なコロナ禍で、多くの事業が中止になった。中止にする基準は国や県に倣って大和市が決定したと思う。中止ならリスクはないし、生命にかかわることなのでやむを得ないと思うが、国でいう専門委員会のように、スポーツ推進審議会に諮ってもよかったのではないか。

例えばスポーツ少年団では密を避けるため、一つの会場で100人以上での練習や試合はできないという基準があるため、公共施設でない会場ではその基準を踏襲したうえで練習をすることができた。一方で、学校開放や野球場は使用中止となっていた時期があった。

（事務局注：令和2年9月に実施した大和市トップスポーツ観戦デーで開催された）ソフトボールは、関係者用受付が室内にあり、相当密になっていたが成功裏に開催された。次年度についてもそういった事業が予定されているが、昨年12月の急拡大のように、コロナの状況によっては中止になると思う。その判断は国、県、市が行うことになる。そういった判断をするにあたり、審議会は市から相談をしてもらえる立場にはないのか。

○事務局

市がイベントや事業を実施するにあたって何らかの基準等を出す機関にできないかということについては、委員と個別に何度かディスカッションを重ねました。中止にするのは一番安全でよい一方、本当にスポーツの持つ力を出すという意味では、なんとかしてできるように考えるということのも一つの考え方であったと思います。いずれにしても、どこまで本審議会が責任をもって発信できたかということです。

例えば、体育協会の各種目協会や地区体育振興会の各地区から、どういった基準があるのかと問い合わせがありました。市といたしましては、緊急事態宣言中などのクローズを除き、施設はオープンしていました。市の施設で事業を行う場合、入場者数の制限等は設けていましたが、それ以外のところについては、国等が示す感染対策を徹底して行っていただくこととしました。

事業を実施して何かあった場合、最終的には主催者の責任になりますが、主催者から審議会の指針に従って開催したと言われる可能性を考えますと、市といたしましては、できるかできないかの判断や指針を本審議会から出すということについては、そこまでの責任をもつことは難しいと考えました。そこで、国の指針等をお示ししながら、開催は主催者の判断でお願いすることとし、あえて審議会で指針を出す議論は避けました。

●委員

例えば体育協会の大会であれば、種目によって異なる特性ごとに開催可否の判断基準があるはずである。本審議会はスポーツの推進について審議しているにもかかわらず、密になるからと2回ほど中止になった。必ずしも会議室で開催する必要はなく、体育館やグラウンドでもできたと思う。

こういった会議を中止した一方で、ソフトボール大会は実施されたり、スポーツ少年団の事業は400人以上集まってしまうことから中止とせざるを得なかったりした。会長に伺いたい、審議会としてこういった議論をしていくことを市に建議していくことは考えなかったのか。

●会長

今の発言については、趣旨は理解しているが、もう少し審議会の立場や役割を大事にして、協議をしていってほしいという意見にとどめてもらいたい。会長としても、せっかく審議会という場があるので、結論を出す前に協議というプロセスを踏んでほしいと考えており、今後の課題としていきたいと考えている。

コロナ禍は初めての経験であり、体育協会においても各種目協会でも選手の意向を調査し、開催しても参加者数が確保できないことから、多くの事業を中止した経緯がある。

●委員

委員の中には幼稚園関係者や小中学校の校長会、高校の先生もいる。幼稚園や学校、振興会なども含め、それぞれが行っている対策や、コロナ感染を広げないためには、どこに気を付ければよいかといった情報が欲しかった。

小学校では児童が昇降口に集中しないように、じゃんけんをして勝った人から下校する方法をとっていると聞き、早速スポーツ少年団の事業で参考とした。

このように、なんとか方法を考えればできたのではないかと。「大和方式」のようなものを作ってもよかったのではないかとと思う。

●委員

明日から高校野球が始まるが、保護者や学校関係者の観戦を禁止するなどのガイドラインがある。サッカー、陸上など、その他の競技も順次スタートしていくが、いずれの競技も緊急事態宣言が解除されなくとも開催する予定であった。なぜ可能かという点、それぞれの競技の属性に応じてガイドラインをきちんと出していたからである。そのガイドラインは各種目の日本協会から各都道府県の協会に降りてきたり、体育協会に降りてきたりしたものである。それに基づいて神奈川県の特長や感染状況等をふまえて、どれだけの制限をかけるか、すべてガイドラインに記載した。また、チェックシートを提出させるなどして2週間前からの健康状態を確認することとした。例えば武道などは組み合わせるのでかなり特性が異なるが、それでもしっかりとガイドラインが作成された。

中止にしてしまうのは簡単だが、一方で協会ではもっと活発化していきたいと考えている。子どもたちやスポーツを愛する大人に向けて、何か手立てをしている方に対して、相乗りのような状態で行政の方でもかみ合っていけるような状況を作っていく必要があるのではないかと。それでも変異ウイルスなど中止にせざるを得ない状況もあるかと思うが、中止ありきではなく、模索する中でそれでもだめだというようなプロセスが必要だったのではないかと感じる。

いろいろご苦労されているのはよくわかるが、そうやって県や高校も事業を実施してきたので、参考までに申し上げた。

●会長

3密を避ける必要がある中でどのように開催できるか、人数や会場など様々な制限があった。中止するのは簡単というが、決して簡単ではなかったと思う。様々な検討をしたうえで中止せざるを得ないという結果になったことをご理解いただいて中止決定したと考えている。

【議題（３）令和３年度関連団体に対する補助金について、議題（４）令和３年度スポーツ課予算について、事務局より説明】

●委員

団体への補助金について、スポーツ少年団だけが減額で他は前年と同額となっている。決算ベースでは今年度の事業の多くが中止となり、返金などもあったかと思うが、そういった部分の差し引きなどはしないということによいか。

○事務局

お見込みのとおりです。

●委員

夢の教室事業について、今年度コロナ禍を理由に中止となり、次年度も引き続き中止となったが、スポーツ選手と触れ合えるなど、気づきの多い事業だと思う。今後コロナの状況がおさまったら再開してもらえるものか。学校としてはぜひ再開をお願いしたいと思う。

○事務局

夢の教室については大変好評で、子どもたちにとっても意義があるものであると伺っています。今回の中止につきましては、突然に学校に投げかける形になってしまいました。各学校の校長先生や現場の先生に対して、相談も無しにという形になってしまいましたのは、予算の審議が３月に行われていたことが原因でありまして、その点をご理解いただきたいと思います。先日も校長会の会長に、コロナが終息したらぜひ再開してほしいというお声をいただきましたが、学校開放等を含め、中止した事業が再開する場合は、決定前に一度学校に投げかけてほしいというご意見をいただきました。来年度、コロナが終息し、再開できる状況になった際は、学校と調整させていただきたいと考えています。

●委員

学校開放の事業費の減額がかなり大きいですが、減額の原因はプール開放の中止によるものだけか。

○事務局

お見込みのとおりです。

プール開放につきましては、今年度はコロナの影響により中止としました。次年度につきましては、業者などに確認したところ、通常の監視業務に加えて感染防止を徹底することや、更衣室での感染防止策を講じることが難しいとの意見があり、中止とさせていただきました。

●委員

学校プール開放について、事業を実施しないにしても何らかの維持費用などがかかるのではないかと思うがどうか。

○事務局

例年の維持費につきましては、監視業務に加えて、学校のプール授業終了後に実施する水質検査などの費用がかかっています。ろ過機や水代といった経費はスポーツ課ではなく、学校側の予算で計上しています。

●委員

引地台プールも次年度は休止と聞いた。きちんと感染対策を実施したうえで、学校プール開放の代替えとして引地台プールを使用するという検討はなかったのか。

○事務局

引地台プールの休止にあたり、プールではマスクがつけられないことから感染対策が徹底できないというのが一番の理由でした。議会においても、コロナ終息後に向けて再開できるよう準備を整えておくことはできないかというご質問等もありました。今回の直接の休止理由ではありませんが、希望的観測に基づき再開を見越して準備をしておく、1年で7千万円ほどかかるとも言われております。当該施設は所管が異なりますが、今年度も制限をかけて開場している経過もあり、今後のコロナの状況も不透明な中、同じコストをかけるのであれば、コロナ対策にあてた方がよいのではないかという話もあったと聞き及んでいます。

●委員

先ほどほかの委員からの発言にもあったが、ガイドラインを整備し、中止の決定にあたり具体的な理由があつて皆が納得し、審議会でも検討した結果であれば納得する。予算が浮くからなどという理由ではなく、開催・中止の具体的な条件設定について審議を本審議会でもしたいと思う。

【議題（5）その他】

●委員

昨日から開始した聖火リレーのランナーを務めることになっている。6月30日に横浜で聖火リレーに参加し、7月1日午後7時に大和スポーツセンターでフォトセッションを予定している。

審議終了

以上